

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和 7 年 5 月 2 7 日（火曜日） 午後 2 時から午後 3 時 3 0 分まで
場 所	中央公民館 講座室
会議件名	令和 7 年度第 1 回 社会教育委員の会議
主な議題	1. 第 34 期日野市社会教育委員の変更について 2. 議長の変更について 3. 事務局職員の人事異動について 4. 協議・情報共有 （1）組織改正を踏まえた「ひのまなびのまつり」等の在り方について （2）持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について （3）「日野本町地区公共施設再編基本構想」、「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」について （4）東京都市町村社会教育委員連絡協議会の役員について
参 加 者	社会教育委員 小杉委員、須崎委員、大瀧委員、清水委員、山本委員 教育委員会事務局 飯倉生涯学習担当参事（ふるさと文化財課長兼務）、大村生涯学習支援課長（中央公民館長兼務）、須崎生涯学習支援課主幹（中央公民館副館長兼務）、奥住図書館長
配布資料	【資料 1】 第 34 期日野市社会教育委員名簿（令和 7 年 4 月現在） 【資料 2】 日野まなびあいプラン展開シート 【資料 3】 教育振興基本計画又は教育大綱などの策定状況及び生涯学習審議会等の設置状況（令和 6 年 5 月現在／東京都区市町村データブックより） 【資料 4】 日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画【概要版・抜粋】 【資料 5】 日野本町地区公共施設再編基本構想【概要版】 ほか、第 4 次日野市学校教育基本構想と日野市生涯学習推進基本構想・基本計画のリーフレット配布など
結 果	協議・情報共有の内、（1）と（2）については継続協議、（3）と（4）については了承 （1）組織改正を踏まえた「ひのまなびのまつり」等の在り方について （2）持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について

主な内容	1. 第 34 期日野市社会教育委員の変更について 人事異動等により、橘委員から数野委員に、斉藤委員から館委員に変更報告 2. 議長の変更について 議長から、議長と副議長の交替の申し出があり、了承 3. 事務局職員の人事異動について 略 4. 協議・情報共有 <u>(1) 組織改正を踏まえた「ひのまなびのまつり」等の在り方について</u> 事務局より、資料 2 をもとに、令和 6 年度の成果報告、令和 7 年度の予定を説明。生涯学習課と中央公民館の統合を踏まえ、中央公民館における各事業（公民館まつり、アートフェスティバル等）において、生涯学習事業を展開。「ひのまなびの日やまつり」など単独の日や事業を設けるのではなく、統合に伴い整理し、既存事業への展開を図る。具体的には、 ・ 5 月の公民館まつりにおいて、ひの 21 世紀みらい塾による学びを応援するコーナーを展開 ・ アートフェスティバルにおいても、前回の社会教育委員の会議での指摘を踏まえ、生涯学習、社会教育事業を紹介するコーナーをアートフェスティバルのなかで実施を検討する。 (委員) 組織が統合しても職員は増えていない、今までの事業を別に全部するのは大変なので、組織統合にともない事業も統合していくのはいいのではないか。アートフェスティバルが秋に移ったこともあり、アートを囲みながら学びについて話合うのも素敵だと思う。一中のブラスバンドの演奏の評判がよかったので、子どもが参加したり関わりがある仕掛けがあると盛り上がる。 (委員) 市民まちづくりフェアでも、子どもの運営するコーナーの企画が出ている。世代を広げていくと、雰囲気や運営も変わってくる。中学校では文化祭がなくなっているという話も聞く。 (委員)
-------------	--

学びは発表や褒められる場などだけではなくて、原点に戻って「学びって幸せに生きるためのものだよ」として、学びカフェ的な、ちょっと心をゆるめられるような場があるとよいのではと思う。

(委員)

焚火を囲んでもいいかも、焼き芋を焼いたり、みそ汁選手権は楽しかった。

(委員)

学生も、呼ばれたりボランティアで関わるだけでなく、運営側に関わってくれと、経験にもなるし、主体性も出て成長にもつながるのではないかと思う。

(委員)

昨年度本会議で検討したコミュニティ・スクールの状況について、今後報告をお願いしたい。

(事務局)

アートフェスティバルにおいて、内容はこれから検討するとして、社会教育委員で活動する学びカフェ的な場所を確保するように調整する。

また、コミュニティ・スクールの状況について、この会議の場で報告するようにする。

(2) 持続可能で効率的な運営を図る計画、会議等の統廃合について

事務局より資料3の都内自治体の事例をもとに、第4次日野市学校教育基本構想と日野市生涯学習推進基本構想・基本計画の統合や、生涯学習課と中央公民館の統合を踏まえ、社会教育委員の会議や公民館運営審議会の連携の可否、合同開催について提案

(委員)

昨日に公民館運営審議会の中で協議され、学識経験者から慎重な意見が出ていた。審議会の同時開催などおもしろいと思っているが、丁寧に進める必要がある。話題に上がった審議会の傍聴の件はどうなっているのか。

(事務局)

傍聴の件は昨年度例規を整備し、生涯学習部門の会議等についてできるよう

になっている。事前に議題を公開し、傍聴を募り、議事録は公開していく流れになる。計画や審議会の統合は、今回は提案で、引き続き法的な面、必要性などを検証し協議していきたい。

(3)「日野本町地区公共施設再編基本構想」、「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」について

資料3（日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画）をもとに説明、特に意見なし。

資料4（日野本町地区公共施設再編基本構想）をもとに説明

(委員)

委員として参加しているが、いろいろな意見が出ている。基本的な考え方として、縮小するけれども、内容は充実するということだが、具体的に検討中である。複合施設にすることで、スペースが有効に使えたり、共用スペースの窓口一本化など有効活用を図ることになっているが、建築条件が厳しく、日野図書館がある甲州街道沿いと既存の公民館がある場所で条件が異なる。

(委員)

日野宿交流館に新選組の展示があるが、新選組ふるさと歴史館や郷土資料館の資料も展示していく予定なのか。日野宿・新選組の展示を交流館でまとめてみられるとよい。

(事務局)

再編後も日野宿・新選組の展示コーナーは継続していきたい。郷土資料館がある教育センターは今後長く使える施設ではなく、新選組ふるさと歴史館において、市全体の郷土資料も扱っていきたい。

(4) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の役員について

日野市は、令和7、8年度 副会長市、令和9年度 会長市となる。

参加委員より、先日開催された東京都市町村社会教育委員連絡協議会の総会の報告あり、事務局より協議会における主な役割について説明

次回の社会教育委員の会議は後日調整